

第7回伊佐市新庁舎建設検討委員会

- 開催日時 平成30年9月11日 13時30分～16時50分
- 開催場所 伊佐市役所大口庁舎 大会議室
- 出席委員 小山委員、丸田委員、中村委員、村田委員、池畑委員、轟木委員、田代委員、曾山委員、左近充委員、沖田委員
- 欠席委員 岡本委員、長野委員
- 事務局 財政課 富満課長、財産管理活用係 釜場係長、向園、遠矢

===会次第===

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議事
- (1) 新庁舎建設候補地の検討について
- 4 その他
- 5 閉会

===議事===

- (1) 新庁舎建設候補地の検討について

【事務局】

配布資料等について、及び、岡本委員、長野委員は評価書を提出してあり、委員長に預けてあることについて説明

【委員長】

評価の基準に対する委員それぞれの評価（◎○△×）と評価の理由を聞きつつ、岡本委員、長野委員の評価も確認しながら協議していきたい。

=====

《留意点のそれぞれの項目ごとに各検討地について評価》

=====

- (1) 防災拠点としての機能が発揮できること

①災害想定区域でないこと（土砂災害警戒区域、土砂災害危険箇所、河川浸水想定区域など）

【委員意見】

- ・各地とも災害想定区域にない。
- ・重留の浸水に問題がある。
- ・重留は河川浸水の想定区域に近く、孤立の原因になる。
- ・重留周辺の雨水排水がうまくいかない。地区全体で考えると湧水地という設定。大きな調整池が必要。
- ・大口庁舎は急傾斜地に近接している。
- ・重留は災害想定区域にはないが、いまは埋めてあるがかつては湿地帯で地盤が悪く浸かっていたこともあると聞いた。

【委員長】

重留の評価が下がるのは大方の傾向。

【委員】

重留に◎をつけた方は他の方と違う考えをお持ちなので、そこを聞きたい。

【委員】

災害想定区域にないことと、18年災害でも市山経由と曾木の滝の橋経由の道路だけが寸断されなかったことによる。

【委員】

そのことを聞いても◎にはならない。

【委員長】

防災マップ上は災害想定区域にないので×にはならない。

【委員会集約⇒大口○ 重留△ ふれセン◎ 合庁◎】

②災害時に周囲へのアクセスが寸断され孤立する恐れがないこと

【委員意見】

- ・重留は重留川と市山川に挟まれている。市山川は過去に度々氾濫している。消防や警察にアクセスできない。災害時には孤立する恐れがある。（18年災害時に）北側に抜ける道があったとのことだが、それでも厳しい。
- ・重留は、伊佐農林前のことも含めて厳しい。他の3つは大きな国道に面しているので大差はない。
- ・大口、合庁は道路が狭い。
- ・重留は 268号から中に入っている。道幅が狭い。
- ・アクセスという面では重留は難がある。
- ・重留のほかは大差がない。
- ・市山川は氾濫しない。18年災害時に通行できた。この項目だけ見ると重留は寸断されない。
- ・重留は孤立する恐れはないというものの、他の場所と比べたらやや評価は下がるのかなという気がする。
- ・重留は寸断されないと思っているし、寸断されてもいない。議員にも説明したが、重留とふれセン周辺の2か所しか（推す声が）出なかった。重留は寸断されるとは思っていらっしやらないのだと思う。
- ・評価の基準で比べると、他の場所より重留は評価が下がると思う。
- ・「多方向から進入可能か」ということで考えれば、重留は寸断されなかったとおっしゃるが、1か所からしか進入できなかったということなので、×か△。

【委員長】

この留意点は「多方向から進入可能か」ということなので、重留と他の3か所は違う。

【委員会集約⇒大口◎ 重留△ ふれセン◎ 合庁◎】

③災害時にライフライン施設の確保や復旧がしやすいこと（電気、水道、通信等）

【非評価対象】

④災害時に関係機関と連携が取りやすいこと（消防、病院、警察等）

【委員意見】

- ・評価の基準に書いてあるとおり。
- ・ふれセン周辺がいちばん警察や病院に近い。
- ・合庁周辺よりふれセン周辺の方が関係機関の数が多い。重留は避難所にしても離れている。
- ・あまりにもふれセン周辺の条件がいい。
- ・ふれセン周辺と合庁周辺では差がない。
- ・警察や消防などすべて含めて重留はアクセスが悪い。対策会議ができるのか。
- ・すべて集まりすぎているのもどうかと、いま思った。すべてがダメになるという考え方もある。
- ・重留以外は大きな差がない。
- ・連携を連絡に置き換えての評価。場所の評価はふれセン周辺がいちばんいい。

【委員会集約⇒大口○ 重留△ ふれセン◎ 合庁○】

(2) 交通利便性がよいこと

①市内各所からの交通アクセスがよいこと（道路網）

【委員意見】

- ・ふれセン周辺がどこからでもアクセスがいい。
- ・そんなに差はない。
- ・ふれセンには寄りやすいが、ほかは評価のしようがない。
- ・ふれセン周辺の利便性が高い。
- ・合庁周辺は入りにくい。
- ・ふれセン周辺以外は差がない。
- ・山野線と宮之城線がふれあい道路になって、ふれセン周辺には菱刈方面からも山野方面からも来られる。木ノ氏方面もバイパスが開通した。曾木、針持、羽月西からも来やすい。

【委員会集約⇒大口○ 重留△ ふれセン◎ 合庁○】

②市外からのアクセスも含め公共交通網が確保されていること（バス路線）

【委員意見】

- ・ふれセン周辺はまとまっている。重留はやや引っ込んでいる。
- ・大口庁舎の正面の道路にはバスが走っていない。
- ・ふれセン周辺以外は遜色がない。
- ・ふれセン周辺には、南国交通のバスセンターがある。ほかに差はない。
- ・バス停を考えたらふれセン周辺。
- ・昔から駅の周辺が中心という気がする。
- ・どこに庁舎ができてバス路線は変わると思う。重留以外に差はない。
- ・いまでもふれセン周辺が整っている。
- ・全体で見ると差はない。
- ・重留の場合はバス停が遠い。

【委員長】

公共交通の再編は必要になる。ふれセン周辺がバスの起点。大口庁舎と合庁周辺は、やや歩く必要がある。重留は乗り換えが必要になるということでやや評価は下がるか。

【委員会集約⇒大口○ 重留○ ふれセン◎ 合庁○】

③安全かつ必要十分駐車スペースを確保できること

【委員意見】

- ・ふれセン周辺は駐車場が足りるか心配だが、既存の駐車場をうまく活用すれば大丈夫。
- ・庁舎ができれば進入路は確保できる。駐車場をメインに考えた場合、ふれセン周辺では、イベントが重なったときには駐車する場所がない。周辺にも駐車スペースがない。
- ・重留は広いので十分確保できる。ほかはどうかと思う。
- ・ふれセン周辺については、イベントが重ならないように事前調整することで解決できる。
- ・ふれセン周辺については来客専用とし、職員駐車場を別に確保することで混雑しない。
- ・ふれセン周辺については、JAに貸しているところや交番裏を活用すれば確保できる。県との調整が前提条件だが、合庁周辺についても確保できる。
- ・ふれセン周辺については、交番裏や北側の交差点駐車場をきちんと活用すること。来庁者専用とし、ふれセンに関係なく占有している車を除き、管理すれば足りる。
- ・ふれセン周辺は足りない。立体駐車場をつくるか、庁舎を小さくしてふれセンを利用するなどすれば足りる。
- ・職員駐車場を別に確保するとのことだが、大口庁舎のいまの職員駐車場を使うとすれば歩いて行くには遠い。菱刈からも職員が来ることになるので、その分まで確保できれば出来ないことはない。経費は別にして、こころ館の駐車場に3階建ての立体駐車場をつくれれば停められる。それを考えればふれセン周辺はいいかも。合庁周辺は、県有地を買わないと難しいかも。
- ・合庁周辺の空き地だけでは難しい。合庁の使っていない部分を何とかして、庁舎をつくれればいいと思う。
- ・現時点では、ふれセン周辺か合庁周辺は県有地か民有地を買わなければ解決しないので、評価は○しか付かないのではないか。
- ・大きな会議などは、駐車場が確保できる他の施設で開催すればいいのではないか。
- ・ふれセンとこころ館で、大きな会議などが重ならなければいい。

【委員会集約⇒大口△ 重留◎ ふれセン○ 合庁○】

(3) 他の施設や組織等との有機的な活用が期待できること

①近接する他公共施設との複合的な利用による相乗効果が期待できること

【委員意見】

- ・重留は、特別支援学校が誘致できた場合には近い。ふれセン周辺はふれセンが近い。
- ・大口庁舎はふれセンまで遠い。重留も遠い。ふれセン周辺はふれセンがある。合庁

も離れているがやり方によってはいい。

- ・重留は離れているが、ほかに遜色はない。
- ・ふれセン周辺は、ふれセンとこころ館の会議室を使える。あとは一緒。
- ・ふれセン周辺は、ふれセンとこころ館が近い。重留は他の公共施設から遠い。
- ・ふれセン以外に差はない。100（点）ということはないので○。
- ・伊佐市全体から、評価基準にある施設を見て判断した。
- ・ふれセンは複合的に利用できる。あとは変わらない。

【委員長】

現状で評価するか、敷地が広いことあり、可能性も含めて評価するか。合庁周辺だと譲り受けられるかということと同じであるとも考えられる。統一した方がいい。

【委員会集約⇒大口○ 重留○ ふれセン◎ 合庁○】

②市行政に関係する機関や団体等との連携において有機的な活用が期待できること

【委員意見】

- ・商工会、JA、シルバー人材センター、交通安全協会などにふれセンが一番近い。
- ・合庁周辺は合庁の隣にあるので行政の関係では有利。
- ・ふれセン周辺と合庁周辺には関係機関があるので連携しやすい。
- ・「近接」という言葉にこだわり重留は×。大口庁舎と合庁周辺は甲乙つけがたい。
- ・いまの行事を見るとふれセンに集まっている。

【委員会集約⇒大口○ 重留△ ふれセン◎ 合庁○】

(4) 地域への波及効果が期待できること

①来庁者にとって庁舎周辺での利便性が高いこと（病院、商店、飲食店、金融機関等）

【委員意見】

- ・重留にも商店、飲食店、病院もある。ふれセン周辺は特にある。
- ・位置的に大口庁舎は不便なところにある。
- ・重留は少し離れているということで△。
- ・ふれセン周辺がいちばん集まりやすいだろうということ。
- ・大口庁舎も重留も少し出れば飲食店はあるが、福祉関係や金融機関などでやや不便。
- ・ふれセン周辺が商店街や病院に近い。
- ・病院はそれぞれ掛かりつけがあるが、商店街や金融機関を中心に考えればふれセン周辺となる。
- ・すべてが揃っているのはふれセン周辺。
- ・大口庁舎と重留が同じ△というのはどうなのか。評価の基準からすると、ふれセン周辺と合庁周辺はそう変わりはないと思う。
- ・合庁方面から商店街の利便性というのはあるのか。合庁方面から商店街の方にはなかなか歩いてこない。ふれセン周辺を100とすれば合庁周辺も100ということはない。
- ・合庁周辺には病院も商店もない。ふれセン周辺はすごくいい。
- ・金融機関に限れば、庁舎内にATMを設置すればいい。
- ・重留にも金融機関（郵便局）はある。

【委員会集約⇒大口○ 重留△ ふれセン◎ 合庁○】

②市民が立ち寄り易い立地にあり、交流・情報スペースを確保できること

【委員意見】

- ・重留に広い庁舎をつくれれば、スペースは確保できる。ふれセン周辺は揃っている。
- ・4か所を平等に見た場合、そのスペースを確保すれば同じ。
- ・位置による。
- ・重留はやや遠い。立ち寄りやすさが大事。
- ・ふれセン周辺は立ち寄りやすい。新庁舎とふれセンがつながれば、ふれセンに流れができる。
- ・いまのふれセンの状況を見たときにふれセン周辺がいちばんいい。
- ・大口庁舎はスペースを確保できるかどうか。重留は奥まっているので立ち寄りにくい。
- ・大口庁舎は、周辺が住宅で埋まっているし、交通の便も良くないので立ち寄りやすいとは言えない。
- ・伊佐市の中心にあり立ち寄りやすい

【委員会集約⇒大口△ 重留○ ふれセン◎ 合庁○】

③地域のにぎわいへのつながりを期待できること

【委員意見】

- ・ふれセン周辺が商工会やJAなどとイベントを行いやすい。
- ・大口庁舎は期待できない。合庁周辺には飲食店がある。ふれセン周辺はふれセンを中心にしてにぎわっている。
- ・現在の周りの状況を考えた。
- ・夏祭りを見てみると、ふれセン周辺が通り（商店街）を中心としたにぎわいになっており、既にできている。
- ・ふれセン周辺は区画整理されている。いまの商店街を活かしていきたい。合庁から商店街方面に行くことはない。
- ・祭りの時も合庁周辺は寂しい。
- ・地域のにぎわいと庁舎建設との関係が理解できない。ふれセン周辺は夏祭りがあり人が多い。
- ・行政機関、病院、警察などとの距離を考えるとにぎわいを創出できる可能性がある。商店街と近い。伊佐市全体でみるとふれセン周辺と合庁周辺には差がない。
- ・いまは寂れているが、合庁周辺に庁舎ができれば復活するという期待を込めた。
- ・ふれセン周辺は昔の大口駅のような場所になればいいと思う。
- ・商店街の活気増にも期待する。
- ・少子高齢化の中で5年後、10年後を考えると、にぎわいを分散させるより1つにまとめた方が、伊佐市としては発展できると思う。いまにぎわいがあるところににぎわいをつくり広げていくことが大事。分散はよくない。ふれセン周辺ににぎわいの中心、行政の中心をもっていくことがいいと思っている。

【委員会集約⇒大口△ 重留△ ふれセン◎ 合庁○】

(5) コスト面で将来負担が低いこと

①庁舎建設費用は、必要な機能を考慮した上で総事業費の抑制が図られること

【委員意見】

- ・大口庁舎は用地が狭いので駐車場の確保なども含めて土地の買収が必要。仮庁舎の建設、移転、解体が必要なのでコストがかかる。重留は調整池、ふれセン周辺は駐車場確保のため一部民有地の買収が必要。場合によっては立体駐車場も必要。合庁周辺は県がいくらで譲渡してくれるかなど条件次第。
- ・大口庁舎は建替えと仮移転でコストがかかる。重留は調整池が必要だし、文化財が出た場合は工期が遅れるリスクもある。ふれセン周辺、合庁周辺は甲乙つけがたいが、県から安く譲り受けられれば○とつけたいが、いまはまだ分からないので△。
- ・評価基準を自分なりに見積もったことによる。
- ・評価基準が難しい。移転費用などを想定。
- ・大口庁舎は建替えと仮移転の費用がかかる。重留は取付け道路が必要。文化財が出た場合は工期が遅れる。ふれセン周辺には取付け道路をつくる必要がない。合庁周辺の道路は狭いことやバイパスからの出入りに関して工事が必要と感じる。
- ・いま建物が建っているかという観点から、大口庁舎と合庁周辺は解体が必要。建物がない重留は、調整池が必要であってもできる。ふれセン周辺は公園を中心に庁舎を建てればあまり費用は掛からないのではないか。
- ・合庁周辺は県との合意があった場合の評価。
- ・大口庁舎は解体や移転の費用が必要。重留は地盤が弱いことや、遺跡の関係で簡単には許可が下りない気がする。ふれセン周辺は新庁舎とふれセンを使えばコストも下がると期待している。合庁周辺は県との条件次第で取付け道路も必要。
- ・大口庁舎は仮設と移転の費用がかかる。重留の地盤は心配いらない。遺跡の半分は調査が終わっているらしい。ふれセン周辺は駐車場用地を買収しなければいけない。合庁周辺は解体費用が莫大。N T Tの土地も買収しなければいけない。
- ・大口庁舎の建替え時の仮庁舎建設は無駄。重留は嵩上げ、ため池、道路の拡張等の費用が多く掛かる。ふれセン周辺はふれセンの非常階段と新庁舎を渡り廊下でつなげば会議室等を活かせる。

【委員長】

工事や土地取得の具体的な額を見積もっているわけではないので比較は難しいところ。取付け道路や調整池など、項目だけで評価している段階。数億なのか数十億なのかによっても違う。市で見積もりをしてもらい、それを踏まえて改めてこの場で議論するか、未確定の項目もあるので、評価の観点から外すということもあり得る。最終的に候補地を決めた段階で評価するという方法もある。

【委員】

最終的には総合的に判断されるので、単純にこの項目で判断すればいいのではないか。素人の考えとしての評価でもいいのではないか。

【委員長】

どうしても工事などの費用が最終的な判断に関わることになった場合には、見積もりを出してもらうこととし、現段階では費用の項目で判断することとする。

【委員会集約⇒大口× 重留○ ふれセン○ 合庁△】

②建設費用のみならず、管理費も含めたライフサイクルコストの縮減につながること
【非評価対象】

③将来のまちづくりとして、周辺整備も含めコストの低減につながるものであること
【委員意見】

・重留に新庁舎ができた場合、何年間かけて商店街などが移っていくかもしれないが、既存の商店街の方々が移転する考えがあるか、体力があるか、仮に移ってもいまの商店街がシャッター通りになってしまう。合庁周辺であればN T Tなどが残ったままとなる。庁舎の周りに空き地や空き家などが無い方が、まちが潤って見える。

・将来性の整理。

・既存の枠組みを利用した方がコストは安くなる。

・まちづくりの観点からいくと中心商店街の近くにつくった方が費用は掛からない。これから重留にまちづくりをしていけば長い年数と多くの費用が掛かる。

・「中心商店街」とあったが、菱刈にも商店街はある。それぞれ商工会員でもある。菱刈でもまちづくりをしてもらいたいとも思っている。

・伊佐市のふれあいの場はひとつにしていって、伊佐の力を集中した方がいい。菱刈にも大口にもまちがあるが分散している。重留に持ってくると3つに分散されることになる。庁舎もあって駅跡でもある場所に集中して発展させていく方がいい。分散の形では集中できない。そのほうが伊佐市の将来のためにいいと思っている。ひとつにするのなら菱刈でもいいのだが、ふれセン周辺が適していると思って評価してきた。誤解のないようお願いしたい。

・将来のまちづくりとしては、重留も市有地であるし、いろいろなものをつくっていける。将来に向けて何かある場合には重留もいいと思う。

【委員長】

ふれセン周辺はこれまで地域の中心として成立してきたところで、それを活かしていかうということ、重留は新たな核がつかれるということで評価する。どういう核の作り方があるのかということに関わってくる。ここはひとつの項目ではあるが、総合的に候補地を議論していく上で避けては通れないところ。私からの案としては、改めて総合的に議論すべきなので、いまの話を共有して、ここでは仮に評価して、次回、総合的に評価するところで議論することとしたい。

【委員会集約⇒大口△ 重留○ ふれセン◎ 合庁○】

【委員長】

委員会としての評価を集約した。事務局にまとめてもらって、次回以降、総合的な評価をしていきたい。候補地を1つに絞るかどうかということも含む。

本日の議題は以上。

===閉会===